

# GO! GO! よしひろ

Vol.30  
APR.2012



埼玉県議会議員

鈴木よしひろ活動レポート

第30号

平成24年(2012)春発行

〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

ホームページ <http://www.yosshisuzuki.com> E-mail [yosshisuzuki@gmail.com](mailto:yosshisuzuki@gmail.com)

Think together  
Go together

今、考えていること  
理念を明確に、  
数値目標を  
はっきりと…



埼玉県議会議員

鈴木  
よしひろ

政治とは何でしょうか。それは「ものごとを決めること」「未来を選択する行為」です。だからこそ、政治家は、決定や判断を情実やムード、慣習などで決めていては責任を果たせないと考えています。こういった信念のもと、私は県議会初当選のときから、政治や行政が決定を行う際には明確な理念と数値目標をはっきりと提示し、政策を進め、その結果を検証することが重要と主張して来ました。

36歳で県議会に初当選してから、おかげさまで昨年は4期目の当選を果たさせていただきました。それを期にこれまでの私の議会での質問や提言がその後、どうなっているのかを自ら検証作業をしてきました。それがこのほど、まとまってきましたので、ここで何度かに分けてその一部をご紹介します。

答弁をいただいた当時では良い回答が得られなかったところが、その後、動きだし満足すべき結果を得られたところもあれば、また、私の提案通りにならなかったとしてもそれを契機に理念が生きた形で新たな事業が行われたことなどもありました。一方、行政の壁の厚さにまだまだと感じる部分もあります。

自分自身、振り返って見て、この結果を今後の私の新たな活動に活かし、皆様の期待に応えるべく、さらに走り続けて参ります。引き続き、ご支援をどうぞよろしく願います。  
埼玉県議会議員  
鈴木よしひろ

シリーズ01  
10年間を証  
証 鈴木よしひろの  
検 質問でどう変わった！

Phase 1  
父親の子育て参加  
の施策を提案

(平成13年6月定例会)

■鈴木県議 ■父親が子育てに参加することは非常に意義あること。父親の家庭教育を高めるために、静岡県ではお父さんの子育て手帳を作成、配布している。このような施策を展開することが必要。

■教育長 ■本年度新たに父親の子育て参加をテーマにしたフォーラムを実施することに

している。お話しした趣旨を踏まえて、父親を対象とした、家庭教育の向上に努めたい。

その後

平成18、19年度には加須げんきプラザや埼玉大学で「お父さん全員集合」を開催し、父親の子育て参加の啓発を図った。19年度は親の学習プログラムを作成し、その中に「父親の役割」について内容を盛り込む。

★  
考え方が取り入れられました。

＜引用＞

10年間を  
検証  
シリーズ01

# 鈴木よしひろ

# の質問でいろいろ変わった!

↑図からの続き

Phase 2  
単位制高校の  
拡充を提案

(平成13年6月定例会)

■鈴木県議 ■多様な  
こともたちの個性や長所を  
伸ばす上でも、また中途退  
学者や社会人を受け入れ  
る点においても、今後更に  
単位制高校を拡大してい  
くことが必要。

■教育長 ■単位制高  
校は高校改革を進める重  
要な柱と位置づけているで、  
今後ともその拡大に努めて  
参りたい。

その後

これまでに単位制高校12  
校を開校、平成25年度開校  
予定の高校4校を加え、合  
計16校を整備する予定。  
●平成17年度4月開校▼滑  
川総合高校、進修館高校、  
戸田翔陽高校・平成20年度  
4月開校▼誠和福祉高校、

新座柳瀬高校、鶴ヶ島清風  
高校、上尾鷹の台高校、寄  
居城北高校、狭山緑陽高校  
●平成22年4月開校▼蓮田  
松韻高校、栗橋北彩高校、  
吹上秋桜高校

●平成25年4月開校▼(仮  
称)幸手新校、豊岡高校、本  
庄高校、(仮称)吉川新校

提案の通りに  
進んでいます。

Phase 3  
決算情報に  
バランスシート  
をつくれ!

(平成16年6月定例会)

■鈴木県議 ■財政支  
援等を受けている出資法  
人も含めた総合的な決算  
情報について、バランスシ  
ートを作成し、公表すべき。

■知事 ■本県全体の  
資産の状況や長期借入金

などの負債  
の状況がつか  
めるなど、  
有益なもの  
だと考えて  
います。

また、県の  
予算や財政  
状況に関す  
る情報提供を  
県民の皆様に分  
かりやすい形で積極  
的に行うことは大変重要  
だと私も認識しています。  
最悪でも来年の3月まで  
に作成していきたい。

その後

平成16年12月に、平成15年  
度決算分の「埼玉県の連結  
バランスシート」を作成・公  
表、出資法人を含めた県の  
財政状況に関する情報提  
供を行った。

また、平成20年度決算分  
からは、国の指針に基づ  
新たな公会計制度への対応  
として、「総務省方式改訂  
モデル」により連結バラン

提案が  
実現しました。

シートを含む財務四表を  
作成し公表している。

Phase 4  
子ども達に  
もっと  
最先端技術を  
触れさせる!

(平成16年6月定例会)

■鈴木県議 ■地域ご  
とに青少年少女発明クラブの

ようなクラブをつくること  
や、産学官の連携の中に、柔  
軟な発想を持つ中高生も  
含め、最先端技術に触れさ  
せる機会を多くし、新しい  
発見・発明や、そして何より  
理科離れを防ぎ、知的財産  
の創造を推進すべき。

■教育長 ■子供たち  
が科学に触れる機会を充  
実させるため、サイエンス  
キッズ事業や、ウィークエン





REPORT

2月定例会のご報告(2月20日～3月26日)

平成24年度予算を決定!

1兆6,777億2,200万円 (一般会計)



平成24年度予算の基本的考え方

平成24年度当初予算は、「埼玉から日本を元気に」をテーマとして予算編成が行われました。

今回は「健康長寿埼玉プロジェクト」「埼玉エコタウンプロジェクト」「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」の三大プロジェクトをはじめとした安心・成長・自立自尊の埼玉の実

現に向けて、限りある財源を効果的に配分。

その結果、一般会計では1兆6,777億2,200万円、対前年度伸び率は、0.7%の減。特別会計では5,171億4,835万8千円、対前年度伸び率では16.3%の増、企業会計では2,026億1,666万2千円、対前年度伸び率は0.3%の減となっております。次に三大プロジェクトの概要をご紹介します。

健康長寿 埼玉プロジェクト

生活習慣病の予防などの「健康づくり」と、就労や地域活動などによる「生きがいづくり」の相乗効果を踏まえた「健康長寿埼玉モデル」の構築を目指します。

多くの高齢者やその家族は、介護や支援が必要

埼玉エコタウン プロジェクト

県内の各市町が地域の特性に応じて、再生可能エネルギーを中心とした創エネと徹底した省エネによるエネルギーの地産地消に総合的に取り組むために、県として民間コンサルティング会社と連携しながら、対象市町が

になつてもできるだけ住み慣れた自宅で安心して生活ができることを望んでいます。そこで、介護と看護のサービスが切れ目なく一体的に提供される「24時間定期巡回・随時対応型サービス」の普及を図ります。さらに、在宅での介護生活が困難になつた場合のセーフティネットとして、引き続き特別養護老人ホームの整備を積極的に進めるものです。

埼玉版 ウーマノミクス プロジェクト

女性が働き手や消費・投資の担い手となることで、経済成長や社会の活性化につながっていくような仕組みづくりを進めます。

女性が出産を機に女性が仕事と育児との両立ができるよう短時間勤務など多様な働き方を普及させるため、短時間勤務制度の導入を推進。短時間勤務やフレックスタイムなどを実践している企業への認定制度を設けます。

さらに、県庁舎の一部を

活用して周辺の企業とともに共同で運営するモデル保育所の整備を図り、工業団地等での共同利用型の保育所の整備を促進します。

「埼玉県女性キャリアセンター」や新たにキャリアアセンダープラントを活用して女性の再就職支援を強化。また、女性の起業支援などに必要な資金を融資する「女性経営者支援資金」(融資枠100億円)を創設するものです。

意見書：次の4件です。

●北朝鮮による拉致問題の一刻も早い解決を求める意見書

●年金制度抜本改革の全体像を早期に示すことを求める意見書

●戸別所得補償制度の見直し等の農業政策の立て直しを求める意見書

●拙速な人権救済機関の設置を目的とする法律の制定に反対する意見書

決議：次の1件です。

●東日本大震災で発生したがれきの受入れに関する決議

情報発信中! どうぞご覧下さい。

●ブログ <http://ameblo.jp/suzuki-yoshihiro>



●ホームページ <http://www.yosshisuzuki.com>



埼玉県議会議員

鈴木よしひろ 49歳

連絡先 / 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347

鈴木よしひろプロフィール

●昭和37年11月生 ●三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部卒 ●参議院議員(故)土屋義彦秘書～平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在4期) ●(社)越谷法人会青年部監事、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニアチーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問等

県政についてのご意見ご要望は右記へ

TEL.948-2070 FAX.948-2071

●E-mail [yosshisuzuki@gmail.com](mailto:yosshisuzuki@gmail.com)